

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

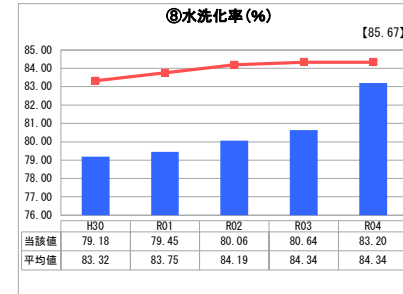
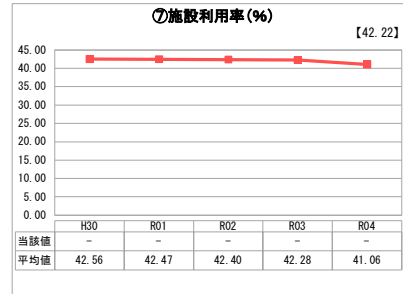
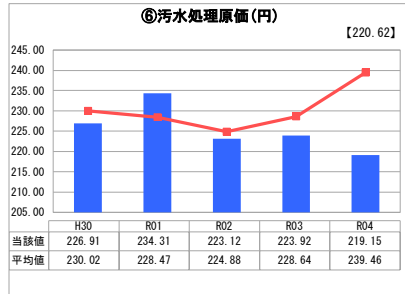
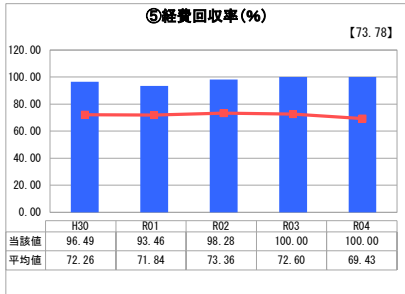
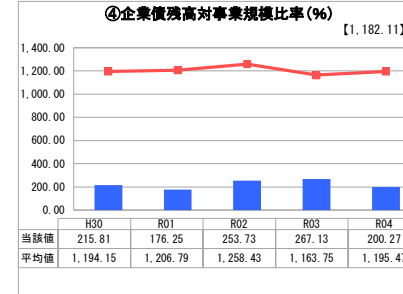
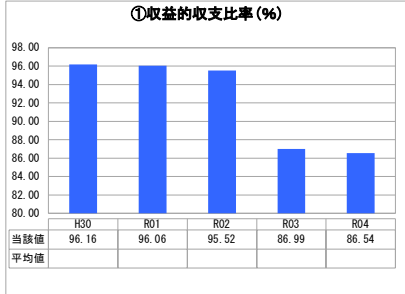
山形県 高島町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	17.39	89.72	4,290

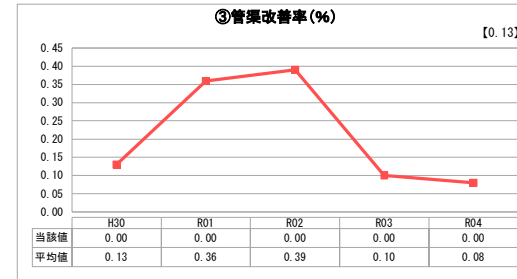
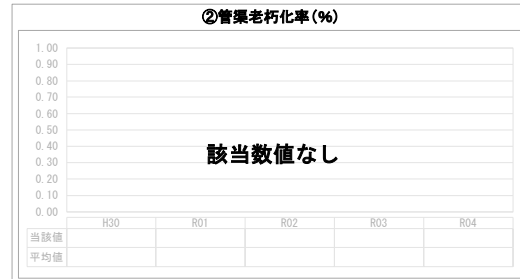
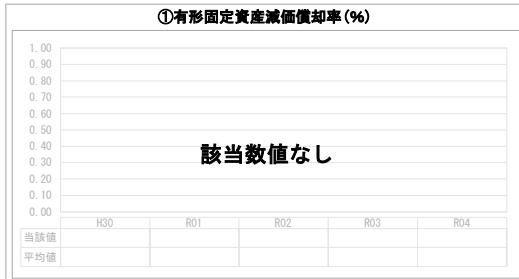
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
22,094	180.26	122.57
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
3,816	2.03	1,879.80

分析凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
[ ] 令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析概

### 1. 経営の健全性・効率性について

平成27年度までは類似団体平均よりも経営状況が悪い傾向にあったが、水洗化率の向上等により、現在では類似団体と同水準の経営状況となっている。令和3年度までは新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためステイホームが呼びかけられたことで、一般家庭での使用量が増加し、使用料収入が増加していたが、令和4年度については従来の生活に回帰しつつあり、使用料収入についてもコロナ禍前の水準に戻つつある状況である。昨今の物価高騰による維持管理費の増加が今後の経営上の課題であり、経費回収率を維持できるように今後も引き続き下水道接続の推進による使用料収入の増加と事業の適正化・効率化による費用の削減を図る必要がある。

下水道使用料金については20㎡あたり4,290円(消費税込み)と県内一高い水準にあるため、更なる経営健全化のための使用料の値上げは難しいが、経営戦略等に基づき、より計画的且つ効率的な事業経営を今後も進めていく。

### 2. 老朽化の状況について

当町の特定環境保全公共下水道事業は平成4年度に着手しており、整備は概成している。事業着手後30年程であるため、現在までに管路の老朽化に伴う更新は実施していない。

なお、マンホールポンプの更新については平成29年から計画的に更新を行っている。

### 全体総括

ここ数年は大規模な下水道整備事業を行っていないこともあり、経営状況は安定している。今後は、処理区域内の下水道未接続世帯解消を図りながら使用料収入の増加に取り組む。

特定環境保全公共下水道事業は公共下水道事業よりも料金収入が少なく、経営基盤が弱いことから、経営状況を的確に把握して健全経営を行っていく。

なお、下水道事業は令和6年度から法適用事業へ移行すべく、現在移行作業を行っているところであり、企業会計へ移行することで、現在以上に的確な経営状態の把握ができるようになることが期待される。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。